



採用・退職

採用医師・退職医師のご案内

【採用医師】

令和4年12月1日付採用



内科
専攻医
小村 綾
(こむら あや)

【退職医師】

令和4年10月31日付退職

内科
医師
山本 峻平

令和4年11月29日付退職

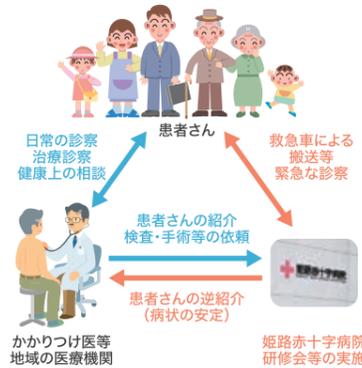
放射線科
放射線技術部長(兼)
放射線診断科副部長事務取扱
松原 伸一郎

患者さんのご紹介はぜひFAX紹介をご利用ください

当院では、地域の先生方と緊密な連携と役割分担を図りつつ、より良い医療を提供していくことで、地域医療の充実を目指しています。

紹介状をお持ちでない患者さんが当院を受診された際は、まず、かかりつけ医を受診していただくようお願いしていますので先生方のご支援を賜りますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちでも直接来院された場合、来院された日に受診出来なかったり、待ち時間が長くなったりとご迷惑をおかけすることがありますので、是非FAX紹介をご利用くださいますようお願い申し上げます。



【患者さんにとってのメリットは?】

- 症状に応じた専門医の診察を受けることができます
- 受診日時が決定するので、スケジュール調整ができます
- 初診申込書の記載が必要ないので手続きがスムーズにできます
- 初診時選定療養費 医科7,700円(税込)、歯科5,500円(税込)が徴取されません
- 外来での待ち時間が最小限となります

FAX紹介受付時間 平日 8時30分～19時まで 土曜日 8時30分～12時まで

診察日 原則 1週間以内 *但し、検査・診療科・診療内容により及び希望日が集中する場合がございますのでご了承ください。

問い合わせ先 地域医療連携課
TEL:079(299)5514(直通) FAX:079(299)5519(直通)

がん相談支援センター

当院では、がんでお悩みの患者さんやご家族の方が安心してご相談いただける窓口として「がん相談支援センター」を設置しております。当院の患者さんやご家族はもちろん、地域の方、当院かかりつけでない方もご利用いただけます。

相談予約 あらかじめ電話でのご予約をお願いいたします
受付時間 平日 8:30～17:00
病院代表：079-294-2251
直通：079-299-0037
相談時間 1回60分程度

また、当院2Fエントランスホールの相談支援センターブースでも相談・予約を承っております。

姫路赤十字病院だより

Vol.39

発行日 令和5年1月

発行責任者 姫路赤十字病院 院長 長岡田 裕之
編集責任者 院 広報委員長 石川 慎一

〒670-8540 姫路市下手野1-12-1
電話 079(294)2251代
URL:https://himeji.jrc.or.jp/

姫路赤十字病院だより

Japanese Red Cross Society Himeji Hospital NEWSLETTER

Vol. 39

January
2023.1

contents

- 年頭のご挨拶
- 通院サポートアプリの導入について
- 令和4年度 兵庫県赤十字有功章等贈呈式
- 診療科の紹介 形成外科
- 診療科の紹介 歯科口腔外科
- Cooperation Message 地域医療連携室
- O-arm イメージングシステムの導入
- コロナ禍でも災害に備えて実践訓練が行われ、救護班要員が参加しました
- 2台目の手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ”導入しました
- 看護部研修予定一覧
- 採用・退職
- FAX 紹介について
- がん相談支援センター





年頭のご挨拶



明けましておめでとうございます。2023年（令和5年）が幕を開けました。

3年近く続く新型コロナウイルス感染症は多方面にわたって全世界に大きな影響を与えています。

ただ、当初に比べ致死率は着実に減少してきており、病原性が低くなったというより、重症化リスク診断や治療法の確立、各種治療薬やワクチンの開発、普及によるものが大きいと考えます。このパンデミックに対し短期間に様々な研究、開発が進んだことに人類の叡智と現在の医学の進歩を実感いたします。ただ、まだまだ収束の気配は乏しく第8波が到来してきております。総合周産期母子医療センターでもある当院は地域医療圏の妊産婦、子供の新型コロナウイルス感染診療をほぼ一手に引き受けて診療しています。コロナ陽性妊産婦の分娩に加えて、第6波、第7波では生後間もない乳児も含め子供の感染者が激増しました。

今後も新型コロナウイルス感染の小児、周産期の診療を中心に対応してまいりますのでよろしくお願いたします。

そして当院は高度急性期・急性期疾患を扱う病院としてがん医療、救急医療、小児・周産期医療を中心にあらゆる分野で質の高い医療を実践すべく務めていきます。

外科系診療科ではロボット支援手術の保険適用が拡大してきており、当院でも年間200件を超えてきています。昨年12月に2台目の手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入いたしましたのでさらなるロボット支援手術の増加が見込まれます。

また、内科、外科などの診療科枠を越えた各疾患群のセンター化を実施しています。たとえば、内科から外科に転科しても患者さんは病棟を移らなくてもよく、看護師も変わることなく担当を続けるので病状の理解も深まり、患者さんの安心感も強く、転科時の申し送りなどの手間も省け、診療の円滑化に繋がっています。地域の医療施設からご紹介していただく際にも内科かな、外科かなと迷うケースにおいてもセンター宛てにご紹介していただければ差し支えございません。

さらに当院は地域医療支援病院であり、かかりつけ医である医院、診療所、施設からの紹介患者さんを積極的に受け入れて急性期治療を行います。一連の治療が落ち着いたらかかりつけ医療機関へ逆紹介して回復期、慢性期医療がシームレスに進むように調整いたします。2021年度紹介率90.8%、逆紹介率104.5%で「病院完結型」ではなく、「地

域完結型」医療を実践しています。

CT、PETなどで診療科を通さずに地域の医療機関から直接予約できる枠が設けられていますので引き続き活用していただきたいと思ひます。さらに開放型病床のシステムもできておりますが、この10年活用されていません。入院病室に紹介元のかかりつけ医の先生が来院されることで患者さんの安心感も増すでしょうし、当院の主治医と顔の見える関係となり、お互いの信頼感、親近感も高まり、そして情報共有、協議することにより、より質の高い医療を提供することができるのではないかと思います。ぜひ活用していくことをご検討していただければと思います。

一方で人材育成にも力を入れています。初期臨床研修病院として研修医定員14名がフルマッチ、初期研修歯科医も毎年1~2名を確保しています。さらに2年間の初期研修を終えたのは、内科専門医、放射線科専門医研修において、当院独自のプログラムによる研修を行っており、本年4月からは7名の内科専攻医が当院で研修する予定となっております。さらに医師の業務の一部を看護師が代行で担うことができる特定看護師育成にも力を入れており、特定行為指定研修機関に認定され、現在18名（延46医療行為）が資格を取得しております。医師の働き方改革のためのタスクシフトの実践に繋がると考えています。また、附属看護専門学校の各学年約40名の卒業生の9割は当院看護師として入職してくれています。

さて、本年早々の1月に電子カルテのシステム更新を行います。併せて診療が円滑に実施されるためのスマートフォンを用いたアプリケーションも導入します。再来患者さんの動線短縮化、診察室の前で待機しなくても院内どこにいても診察待ち状況がわかる、診察後の会計もクレジットカードを用いて自宅でもできる自動会計システムの導入も予定しております。

これからも地域住民に必要とされる機能を整え、地域医療機関、そして医師会関係の方々との緊密な連携をとり、心のこよ安全で良質な医療を実践いたします。

引き続きよろしく御指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

令和5年元旦
院長 岡田 裕之



患者サービス向上および外来待合スペースの混雑解消のため 通院サポートアプリの導入について

令和5年1月16日（月）より、患者サービス向上および外来待合スペースの混雑解消のため、通院サポートアプリ「LifeMark-コンシェルジュ」を利用したサービスを開始いたします。

通院サポートアプリでは、患者さんご自身のスマートフォンにて、①次回受診日の予約状況確認、②来院日前日のメッセージ通知、③当日の診察待ち状況の確認、④診察順番が近づいた際の呼出通知といった機能を利用いただけます。また、登録されたクレジットカードで自動精算できるサービスも追加する予定となっております。

これにより診察予約忘れを防止するほか、診察待ち時間を院内のお好きな場所で自由に過ごしていただくことができます。

付き添いの家族の方のスマートフォンにアプリを入れていただくことで、スマートフォンを持たないご家族の登録もでき、同様にアプリ機能を利用することができます。一人でも多くの方にご活用いただければと思います。

なお、ご利用開始にはアプリインストール後、アプリ登録

窓口での登録手続きが必要となります。（初回登録時のみ）
※利用手数料は無料です。ただし、患者さんご自身のスマートフォンの通信料は、利用者の自己負担となります。

次期医療情報導入プロジェクトチーム



令和4年度兵庫県赤十字有功章等贈呈式

病院ボランティア活動継続者を表彰

赤十字表彰規程に基づき、「令和4年度兵庫県赤十字有功章等贈呈式」が11月16日、兵庫県公館にて赤十字兵庫県支部長（齋藤兵庫県知事）ご出席のもとで執り行われました。

当院からは、「園芸ボランティア」として登録されている10名の皆様が、10年以上にわたり活動を継続された事で兵庫県支部長金棒感謝状の受章となりました。

表彰にあたり、当院の日頃からの感謝の意を込めて11月22日、24日、28日の3回に分けて岡田姫路赤十字病院長から改めて代行表彰を行い、受章されたボラ

ンティアの皆様一人一人に感謝状と記念品を手交し、日頃からの活動に対し、感謝の言葉を贈りました。

受章された方々からは、「園芸ボランティアを続けることが健康に繋がりが、活動中に来院の方から声をかけられる事で活動の励みになります。健康でいられる間は、続けていきたい。」と心強いお言葉もいただきました。

受章された皆様。おめでとうございます。

そして、これからも姫路赤十字病院の療養環境保持のために活動を宜しくお願いたします。

医療社会事業部 社会課長 大西 勝彦



以下写真（受章者名簿）50音順

齋木 康子 玉田 一美 平松 好男 松本 直行 三木 知章 三木 徳子 明賀 治彦 森井 博子 藪中 潔 山本 康子
以上10名



01

形成外科

スタッフ紹介

高田 温行 形成外科部長

(平成9年卒/顔面・四肢先天性異常、皮膚腫瘍、再建外科、創傷外科)

最所 裕司 医師

(昭和53年卒/顔面・四肢先天性異常、皮膚悪性腫瘍、顔面外傷(顔面骨折)、褥瘡、眼瞼下垂)

作道 善行 専攻医

(平成30年卒/形成外科一般)

大森 凛 専攻医

(平成31年卒/形成外科一般)



令和3年診療実績

外傷	89件
先天異常	71件
腫瘍	469件
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	19件
難治性潰瘍	20件
炎症・変性疾患	36件
美容(手術)	-
その他	26件
Extra レーザー治療	146件



当科の診療方針・診療内容

形成外科は頭の前からつま先まで体表の病気、異常、変形を扱う診療科です。当院では外傷や外傷後の変形、傷痕、ケロイドや皮膚の腫瘍、腫瘍切除後の再建、唇裂や多指症などの表在の先天異常の治療、そのほかに難治性潰瘍、眼瞼下垂、巻き爪など、形成外科疾患を幅広く扱っています。レーザーは現在ルビーレーザー、VビームII、CO2レーザー、ヤグレーザーの4種類を設置しており、あざ、ほくろ、皮膚腫瘍などの治療およびレーザー脱毛を行っています。

また、総合病院であるメリットを生かし、他診療科とのチーム医療にも力を入れており、外科や耳鼻科、口腔外科と合同での頭頸部再建、乳腺外科と合同での乳房再建、泌尿器科や婦人科と合同での骨盤底再建等を担当しています。また足の潰瘍、壊疽に対しては循環器内科や心臓血管外科等と共同し、できるかぎり患肢を温存する治療を心がけています。

地域の医療機関の先生方へ

当院形成外科は現在2名の指導医と2名の専攻医の計4名で日々の診療にあたっています。FAX予約でご紹介いただいた患者さんはほぼ予約時間内での診療を開始させていただいています。当院で対応不可能な症例やより専門的な施設が望ましい患者さんには適切な施設を紹介させていただくこともございます。また、当科のみでは対応困難な場合は他科とも連携して診療にあたります。まずはお気軽にご紹介いただけましたら幸いです。

今後とも地域医療に貢献できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

形成外科部長 高田 温行



フットケア外来を開設しました

足の健康を考えてみませんか

対象のかた

- 糖尿病があって、神経障害や血流障害があり、足のケアが十分できないかた
- うおのめ(鶏眼)やたこ(胼胝)で困っているかた
- 爪が分厚い、変形しているなどで爪のケアに困っているかた

日時: 毎週金曜日 13時~17時

場所: 当院形成外科 外来

方法: ①当院形成外科に紹介をお願いします。

②形成外科外来受診後、フットケア外来の予約を行います。



before



after



before



after



before



after



よろしくお願いたします





02

歯科口腔外科

スタッフ紹介

藤原 成祥 歯科口腔外科部長
(平成30年卒/口腔がん、顎顔面外傷)

高木 雄基 歯科口腔外科副部長
(平成17年卒/口腔外科一般)

野田 晴菜 歯科医師
(平成19年卒/口腔外科一般)

藤堂 陽子 歯科医師
(平成25年卒/口腔外科一般)

長谷川 智也 歯科専攻医
(平成30年卒/口腔外科一般)



令和3年診療実績

手術室手術 491例
外来手術 4,234例

<主な手術>
悪性腫瘍 32例
顔面骨骨折(輸血の手術) 14例
抜歯(外来+手術室) 3,755例+381例



当科の診療方針

歯科口腔外科は常勤歯科医師5名、臨床研修歯科医3名で診療にあたっております。緊急対応の必要な患者さんは除きますが、基本的に紹介患者さんを対象としています。当地域の顎口腔分野のあらゆる疾患に対応できるように努力しています。ご紹介頂いた患者さんについては十分に検討し、適切な診断のもとに手術、治療を行うことをモットーとし、地域の先生方との顔の見える、考え方のわかる連携を目指しております。

診療内容

顎口腔領域のあらゆる疾患を対象として診療を行っています。最も多いのは、親知らずの抜歯や顎骨内の腫瘍、嚢胞、口腔軟部組織の腫瘍など口腔内小手術依頼の患者さんであります。多くは外来での小手術にて対応可能ですが、入院を要する場合もあります。また、口腔白板症や口腔扁平苔癬に代表される口腔粘膜疾患患者さんも多く来院されています。近年の統計では罹患患者が増加傾向である口腔がん患者さんも多く来院されています。顎口腔領域の外傷患者さんにも対応しており、院内他科との連携にて出来るだけ早く治療を行うことで、早期退院、早期の社会復帰を目指しています。また、院内外の医療機関との連携にて口腔機能管理、口腔衛生管理を積極的に行っています。それによって、誤嚥性肺炎の予防や、骨吸収抑制剤関連顎骨壊死への対応など、主治療の円滑化のために協力しています。

地域の医療機関の先生方へ

日頃は大変多くの患者さんをご紹介頂きありがとうございます。これからも口腔に関する様々な疾患や問題など積極的にご相談を頂けますと幸いです。初診患者さんは可能であれば事前のFAX予約制度のご利用をお願いします。毎日20名の初診予約枠を確保しており、出来るだけお待たせはしないように努力しております。

歯科口腔外科部長 藤原 成祥



周術期等口腔機能管理

周術期等口腔機能管理は、がん治療や心臓血管手術などに対して治療前から口腔管理を行い、種々の合併症を予防することを目的に10年前に保険導入されました。

当院でも、保険導入直後から各診療科の先生のご協力をいただき口腔管理について対応していましたが、当科のマンパワーのみでは一部の症例しか管理ができておらず、増加する症例に対応すべく、また、地域歯科医療機関との連携した口腔管理を行うべく、2020年より入退院センターに歯科衛生士を専属配置いたしました。現在は、主に消化器・呼吸器領域の悪性腫瘍手術、人工関節置換術などの整形外科手術、心臓血管外科手術を対象として、地域歯科医療機関と連携を図り、合併症の予防管理に努めています。さらに、2021年からは、対象をがん化学療法患者にも拡大し、主に外来化学療法センターにて外来化学療法を行う症例を対象として、化学療法に伴う口腔有害事象の予防、増悪防止を開始いたしました。また、入院中患者に対しては、口腔管理困難症例に対して、看護師、歯科衛生士、歯科医師からなる口腔マネジメントチームによる口腔管理の助言、介入を行っています。

対応とする症例は年々増加しておりますが、当科のみの力では、全ての対応症例を管理しきることはできません。今後も、地域の医療機関、歯科医院との連携を密接に行い、円滑な口腔機能管理をすすめてまいります。

当院における周術期等口腔管理の取り組み

1. 入退院センターにおける口腔管理

当院入退院センターには専従の歯科衛生士が1名常駐しています。

主に消化器・呼吸器領域の悪性腫瘍手術、人工関節置換術、椎体固定手術などの整形外科手術が予定される患者さんの口腔内診査を行い、地域歯科医療機関に対して、術前の歯科治療や口腔清掃といった口腔管理の依頼を行っています。手術まで日がなく、地域歯科医療機関への受診が困難な場合は、当科にて術前の口腔清掃を行います。また、手術に際し、脱落の恐れのある歯牙に対して、挿管時に歯牙を保護する口腔内装置を作製しています。

入院後は当科にて口腔管理を継続し、術後合併症の予防に努めています。退院後は地域歯科医療機関での継続した口腔管理を行っていただくよう情報提供をしています。(2021年度の介入患者数：983名)

2. 外来化学療法センターにおける口腔管理

前述の専従歯科衛生士により、外来化学療法を予定された患者の口腔診査を行い、地域歯科医療機関に対して、外来化学療法についての情報提供を行うとともに、口腔有害事象の軽減のための口腔管理を依頼しています。

また、地域歯科医療機関に受診が困難な場合は、化学療法の際、当科にて継続した口腔内診察、管理を行っています。(2021年度の介入患者数：547名)



Cooperation Message

地域医療連携室

第50回地域連携カンファレンス報告

令和4年8月25日『いのちをつなぐ造血幹細胞移植』と題し、Web配信で開催予定でした。今回の地域連携カンファレンスは、造血幹細胞移植医療体制整備事業の一環で、東は福島県、西は山口県から150名以上の方に参加申込みを頂いておりました。しかし直前に新型コロナウイルス感染が急拡大したため、病院幹部と相談し医療従事者の皆様には、まずコロナ対応に注力していただきたいとの判断で開催中止といたしました。

多くの方が造血幹細胞移植について関心を持ってお申込みくださっていたことを受け、この度、副院長兼血液腫瘍センター長 平松靖史医師による「いま改めて血液検査データの読み方」、第一血液・腫

瘍内科副部長 浅野豪医師による「造血幹細胞移植の実際」と題した講義動画をYouTubeオンデマンド配信し視聴できるようにいたしました。ご興味のある方はぜひ御覧ください。



第51回地域連携カンファレンス報告

令和4年11月24日、『沈黙の臓器』肝臓治療に挑む!!』と題し、Web配信で開催しました。

第一部は肝臓内科部長 多田俊史医師による「見逃してはいけないウイルス肝炎と脂肪肝」、第二部は副院長兼第一内科部長 中村進一郎医師による「肝臓の局所療法」、第三部は薬剤副部長兼治験・臨床研究管理副センター長 上野聖子薬剤師による「肝炎コーディネーター」と題し、当院の肝臓治療について講演いたしました。肝臓治療はウイルスや脂肪肝など原因を除去することが第一、それでも尚且つ発症した肝臓については早期発見が重要であること、肝臓撲滅のためにも当院の肝臓内科、肝炎コーディネーター等の多職種がチームとなり支援していくこ

とを話され閉会となりました。

多くの皆様方にWEBでご参加いただき、「肝炎や脂肪肝が人体に及ぼす影響、肝臓治療の現状などが良く分かった」などのご意見をいただきました。ありがとうございました。



第50回、第51回地域連携カンファレンスの講演内容は当院ホームページの講習・研修会のご案内のページ、もしくは右記のQRコードよりご視聴可能です。ご興味のある方は、是非ご覧ください。

今後もWEBセミナー形式での研修会を企画しております。

次回は3月上旬に開催を予定しております。ご参加お待ちしております。

地域医療連携課 地域連携係長 金澤 有紀子

動画視聴はこちらから→



O-armイメージングシステムの導入

今年10月から、最新型移動式CT (O-arm) (図1)を導入し、2Dおよび3D移動型術中イメージングシステムを開始しております。従来の手術ナビとリンクさせることで、従来の透視装置 (C-armなど) を遥かに超える最先端の安全性の向上が期待できます。また、低侵襲化が可能となりました。脊椎手術は、他の整形外科の手術よりリスクが高く、大きい手術の印象がありますが、そのイメージを払拭できればと期待しております。

従来はPLIF (後方進入椎体間固定術) と呼ばれる後方から進入し、筋肉を剥離し脊椎を露出した上で神経の除圧、インプラントの設置による固定を行っていました。安定した成績があるのですが背筋のダメージがあるのは事実でした。

今回の導入に併せて前方後方同時固定術が標準となっていく予定です。前方 (左側腹部) から5cm程度の皮切で腹筋の間に入って後腹膜腔に進入し、ナビモニターの支援下に椎間内にケージ (人工骨) を設置します (図2a,b)。後方からは小皮切で径皮的にスクリーを刺入します (図3a,b)。

低侵襲 (筋肉の隙間から小皮切で進入) で出血も少ないため (図4)、離床もスムーズで入院も2週間以内を想定しています。開業のご先生方で、腰痛や神経痛でお困りの患者さんをお見かけになった際は是非当院の整形外科脊椎クリニックへの紹介をお願い申し上げます。

第二整形外科部長 松岡 孝志



図1

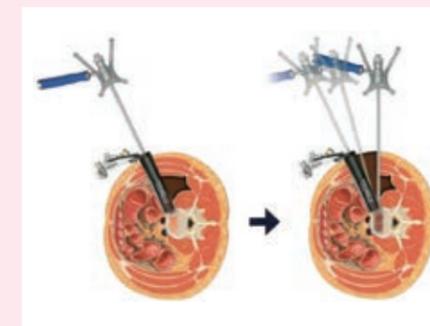


図2a 灰色の長方形がケージです



図2b ナビモニター上に脊椎の断面と挿入されたケージがピンクで表示されています。

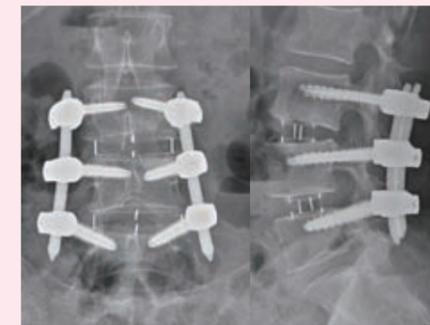


図4 【症例】68歳女性 L3/4/5 前方後方固定術 主訴の腰痛は消失。出血100g未満

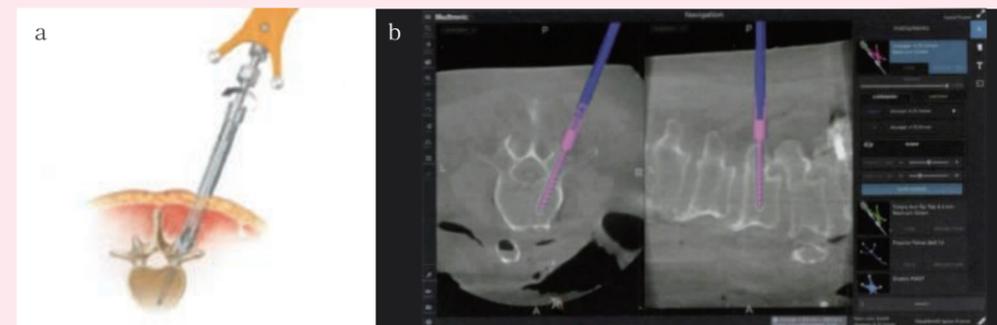


図3a,b 後方からは筋肉を剥がさず、小さな皮切 (各2cm) からスクリーだけを刺入する経皮的刺入法で背筋群のダメージを大幅に減らすことが可能となりました。



災害救護の知識と技術を高める

コロナ禍でも災害に備えて実践訓練が行われ、救護班要員が参加しました。

9月27日(火)

第八管区海上保安本部「災害対応巡視船みうら」との合同防災訓練

兵庫県海域を守る海上保安庁(第八管区)との訓練に県内の赤十字救護班が参加し、巡視船内での医療救護体制を確認いたしました。



10月15日(土)

神戸赤十字病院・兵庫県災害医療センターとの「災害拠点病院研修(災害時受け入れ訓練)」

災害が発生した場合には、「災害拠点病院」が傷病者の受け入れを行う受け皿となりますが、被災地病院の医療応援要員として、赤十字救護班を派遣し、院内治療応援班として参加しました。



10月29日(土)

令和4年度 姫路市総合防災訓練・姫路市国民保護訓練
災害発生時に活動する各種の公的機関が参加する姫路市主催の訓練に医療救護要員として参加いたしました。

11月9日(水)

令和4年度 姫路駅周辺・都市型災害対応訓練

姫路市消防局の主導による、都市型の災害発生時に備えた訓練が実施され、駅前周辺の各種事業者も参加し、駅前広場を搬送拠点とした訓練を実施しました。搬送されてくる傷病者を消防、医療救護班が連携し、応急処置と搬送訓練が行われ、姫路市内の災害拠点病院(3病院)から医療救護班が集結し対応しました。

社会課



中西播磨地域では2台運用は当院のみです

2台目の手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ”導入しました

ロボット支援下手術、いわゆるダ・ヴィンチ手術は前立腺癌では標準治療の一つとされています。多関節を持った鉗子を用いるため、組織の背面から回り込む操作が可能であるなど、従来の鏡視下手術とは異なる多くの利点を持ち、前立腺手術も少ない出血量で行うことが可能になりました。当院では、肺癌、胃癌、食道癌、直腸癌、膀胱癌、良性疾患に対する子宮全摘術にダ・ヴィンチ手術を導入していますが、年間の手術数が200例を超えており、運用面において、前立腺手術以外の手術では制限を

かける必要がありました。各科からの要望も強くこの12月に2台目の手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ”を購入しました。これにより、現在行っている術式においては制限を受けることなく行うことが可能になりました。機種は最新機種のXi、手術台もロボットと連動式のものを採用しており、手術時間の短縮に大いに役立つ筈です。外科では結腸癌、膵癌、肝臓癌に対するロボット支援手術を導入予定です。

副院長(兼) 第一外科部長 甲斐 恭平



研修開催情報

令和4年度 姫路赤十字病院 看護部研修開催予定一覧

※日程は変更する可能性がありますので担当者までお問合せください
※新型コロナウイルス感染拡大の影響から研修会を中止する場合があります
※参加の際はマスク着用・体調管理シートの記載をお願いしています
※e-ラーニング導入により、記載している研修が一部受講できない可能性があります

▶レベルI研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
1/10 13:30~14:30	グローバルヘルス	グローバルヘルスについて	看護副部長又は看護係長	レベルI
2/22 13:30~14:30	看護倫理I	看護師にとっての看護倫理について	看護係長	レベルI
3/10 13:30~14:30	心に残った看護場面 「事例をナラティブに書いて語ろう」	ナラティブ事例の発表・共有	看護係長	レベルI

▶レベルII研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
1/20 13:30~14:30	後輩を支援しよう	後輩育成/リフレクション	教育担当者	レベルII
2/7 13:30~14:30	グローバルヘルスII	国内外の保健・医療・看護・福祉の動向について知る	看護副部長又は看護係長	レベルII

▶レベルIII研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
1/25 13:30~14:30	実地指導者研修	新人看護職員の理解/実地指導者の役割の理解	教育担当者	レベルIII
2/15 13:30~14:30	実習指導	青年心理、教育方法/実習指導者の役割/カンファレンスの持ち方	実習調整担当者	レベルIII
3/15 13:30~14:30	グローバルヘルスIII	災害時、被災地域の文化やその地域の特性をふまえ、過酷な環境下での事故の危機管理・セルフマネジメントについて学習できる	看護副部長又は看護係長	レベルIII

▶看護補助者研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
2/17 13:30~14:30	守秘義務・個人情報と倫理	個人情報保護に基づく守秘義務・倫理・ハラスメントについて	看護副部長	看護補助者

▶専門・認定看護師研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
1月未定	皮膚・排泄ケア	ストーマケア研修	皮膚・排泄ケア認定看護師	全体
1/10	がん看護研修STEP2	第8回 がん患者の就労支援 看取り前後の看護ケア	がん看護専門看護師 緩和ケア認定看護師 がん化学療法認定看護師	全体
1/12	集中ケア	アセスメント力を身につけよう	集中ケア認定看護師	全体
1/13	中はりま がん看護事例検討会	療養場所の選択に関するミニレクチャー+事例検討	がん看護専門看護師 緩和ケア認定看護師 がん化学療法認定看護師	全体
1/13 1月未定	新生児集中ケア	2020年度版 NCPR フォローアップ 新生児の人工呼吸器管理	新生児集中ケア認定看護師	全体
1/17 17:15~18:15	がん看護研修STEP1	第4回 トータルペインについて がん性疼痛のマネジメント	がん看護専門看護師 緩和ケア認定看護師 がん化学療法認定看護師	全体
2月未定	母性看護	CTGLレビューミーティング	母性看護専門看護師	全体
2月未定	皮膚・排泄ケア	ストーマケア研修	皮膚・排泄ケア認定看護師	全体
2/3頃 17:00~18:00	がん関連単発研修	緩和ケア・がん薬物療法リンクナース フォローアップ研修② AYA世代の患者への対応について	がん看護専門看護師 緩和ケア認定看護師 がん化学療法認定看護師	全体
2/7	がん看護研修STEP2	第9回 がん放射線療法の看護	がん看護専門看護師 緩和ケア認定看護師 がん化学療法認定看護師	全体
2月中旬	訪問看護	困難事例検討会	訪問看護認定看護師	全体
2/22	手術看護	外回りの看護(基礎編II)	手術看護認定看護師	全体
3/7	がん看護研修STEP2	第10回 高齢のがん患者を支えるための看護	がん看護専門看護師 緩和ケア認定看護師 がん化学療法認定看護師	全体
3月未定 3/13	新生児集中ケア	超低出生体重児の看護 新生児搬送の看護	新生児集中ケア認定看護師	全体